年４回（４月、７月、10 月、１月の各 10 日）発行

ひゅーまん ねっとわーく

地域と生きる

2017年 7月 発行／第70号

社会福祉法人　北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F　TEL 072-662-8133　FAX 072-662-8155　info@suginokokai.com

白浜１泊旅行　～ひとあし早い夏の思い出～

高原　圭三 さん　　豊澤　徳子 さん

ひゅうまんリレー

human-relay

知的障害がある方たちが地域で幸せに暮らすことをめざす

社会福祉法人白峰福祉会　理事長　森（もり）　公男（きみお）さんより

社会福祉法人白峰福祉会は、「私たちは知的障害がある方たちが地域で幸せに暮らすことをめざします」を理念として東京都のはずれの町田市を中心に活動しております。まず、説明させていただきたいのは、この理念にあるように、「障がい」ではなく「障害」という表現を使うことです。なぜならば、障害はその個人にあるのではなく、その個人と環境との関係にあるという考え方に立つからです。「害」の文字からくるネガティブなイメージは関係性に対応しているのであって個人に対するものではないと考えているのです。

さて、この「ひゅうまんリレー」のテーマでもあり、白峰福祉会の理念にもある「地域で幸せに暮らすこと」を実現するために乗り越えていかなければならないことの一つは「知的障害がある方たちの自立生活検討の常態化」であると考えています。具体的には、重度の知的障害があっても学校教育機関を卒業したあとに、ご家族の支援に依存することのない自立生活のあり方を当事者と関係者で検討するのです。

スウェーデンの知的障害がある方のグループホームを見学したことがあります。利用している方の部屋も見せてもらいましたが、広くおしゃれでした。そして驚いたのが入居する方たちの平均年齢が22歳という現実でした。ご家族に依存しないで暮らすことができているのです。当然ご家族と暮らしたいという方は一緒に暮らすスタイルを選択しているということでした。ホテルに帰った後は涙が止まりませんでした。日本で思い描いていたことは妄想ではなく、現実だったのです。現実なのだから、「あきらめなければ近づくことができる」のが嬉しかったのです。

東京の端にある町田市では、短期入所の場が少なく、グループホームにも限りがあるため、ご家族の高齢化に伴い緊急事態に対応することが困難な事例が増えてきています。そのようなケースを支援するたびに思うことがあります。学

校を卒業したのちに家族に依存しない自立した生活を実現していれば「親なき後」の不安も少なくて済み、ご家族の緊急事態でうろたえることもないはずであるということです。短期入所やグループホームを増やすことは必要なのですが、並行して卒業後の自立生活支援をご本人、ご家族、支援にあたる福祉事業者で検討することが常態化するべきなのです。そして自立生活に必要な社会資源を作っていくのです。

最近は障害がある兄弟のことがテレビなどで取り上げられるようになってきていますが、知的障害がある方の兄弟が小学生の頃から悩むのことの１つは「親なき後」を意識してのアイデンティティーの確立です。親の代わりに障害のある兄弟を支える人生を選び親の期待に応えていくのか、自分がやりたことを実現するために親からの期待を裏切るのか。この葛藤も障害があるご本人がご家族に依存しないで暮らせるようになれば解消されていくはずです。

身体障害がある方たちが自立生活に果敢にチャレンジしていったように知的障害がある方とそのご家族にもチャレンジしていっていただきたいと願っています。そして、そのチャレンジを適切に支援できる地域をつくっていくのが、私たち白峰福祉会の理念であり、存在する理由であると考えています。

地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～

株式会社エムツープレスト
代表取締役　増本晃明（ますもとてるあき）さんより

弊社の業務内容は、トムソン型（木型）による打ち抜き加工専門工場（製造業）になります。はさみで切れるような軟質素材を加工の対象にして、幅広い業界に向けて多品種の製品を提供しています。

地域連携というテーマで掲載の機会を頂きましたが、就労移行支援事業をされているジョブジョイントおおさか様との繋がりは、昨年8月の職場実習がきっかけになります。

弊社でおこなっている工場内の軽作業の部分が、障がい者の方にお願いできる仕事内容として非常にマッチする部分があるのではと、以前から関心がありました。

製造業で課題となり続ける単純作業分野での戦力として魅力を感じておりますし、今まで就職を目指して訓練をされている方への実習の機会が、少しでも社会貢献に繋がればいいとも考えております。

実習受け入れ後も個人によってさまざまな特性があり、仕事をしていただく上で、管理等大変なこともありますが、スタッフの方々のご支援を受けながら、どんな人でもわかりやすく作業をしていただく職場環境づくりや指導方法の確立、共に働く社員たちの意識の変化等、十分なメリットもありました。

今年の4月に初めて3名の障がい者の方を雇用させて頂きましたので、職場実習の規模や頻度は少し落ちましたが、これまで実習生の方が来られることが前提での生産体制になっておりましたので、業務多忙時に非常に助かりました。今後は長いスパンでのキャリア形成等、またご相談させて頂きながら弊社も障がい者雇用について勉強をしていきたいと思っております。

最後になりますが、弊社のような民間の中小企業経営者の立場からの率直な意見を述べさせて頂きますと、障がい者雇用に関して、知識不足とともに自社ではとても無理だと勝手にハードルを上げてしまっている現実があるかと思います。まず、職場実習を通じて障がい者のことを知るところから始めてみるのがいいかと思います。これからも地域における障がい者の方々への就職に繋がる取り組みが増えるような連携を進めていければと考えております。今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

理容 ヘアーカットスーパーBee様
インタビュー内容

障がいのある方のグループホーム「レジデンスなさはら」は、知的に重い障がいのある方や自閉症スペクトラム障がいがあり、行動障がいを伴う方など、地域で生活するために、多くのサポートが必要な方が生活されています。

特に「散髪」は苦手な方が多く、いろいろな支援を試みるのですが、なかなか一般の理容店に行くことが困難で、大きな課題となっています。

しかし、摂津富田駅近くの高槻第四中学の前にある理容店『スーパーBee』さんに行くと、散髪の苦手な障がいのある方が、まるで魔法にかかったように、落ちついて受けることが出来ています。

法人内でも、口コミで広がり、今では「レジデンスなさはら」だけでなく、入所施設「萩の杜」の数名の障がいのある方が「スーパーBee」さんで、安定して散髪を受けることが出来ています。

この魔法のような理容店の店主さんである仲井信夫（ナカイシノブ）さんに、インタビューをしてみました。

1. いつ頃からお店を開店されておられるのでしょうか？店名の由来は？

『平成15年8月8日にオープンしました』

『店名の由来は、商売人なので末広がりの8と、開店日の8月8日に掛けてBee（蜂）にしました』

『入口の蜂の絵は私が描いたものです（笑）』

2. 理容を始められたきっかけは？

『生活のためです』『“美容”ではなく“理容”を選んだ理由ですが“美容”は女性、“理容”は男性を対象としています。わたしが歳をとった時に女性を相手に商売しづらいだろうなあと感じ、男性を対象としている“理容”を選びました（笑）』

3. スーパーBeeのモットーみたいなものがあれば教えて下さい

『あくまで「普通」を心掛けています』『お店の作りなど、お洒落過ぎると逆に、入りにくさを感じる方もおられると思い、あくまで「普通」にすることで、お客さんが入りやすい店にしたいと考えています』

4. 障がいのある方は、こちらに散髪によく来られているのでしょうか？

『数名の方が来られているように思います』

『私は萩谷方面に住んでいますので、北摂杉の子会の車をよく見かけますよ』

5. とても上手に手慣れたご様子で散髪していただけているのですが、何かコツや、心掛けておられることはございますか？

『以前、高槻市内の精神科病院や児童養護施設に出張で散髪に行かせていただいていました。その時にどうしても動かれるお子さんや、落ち着きのない方の散髪をしていたので、慣れてきたんだと思います』

『その時は襟剃りなど、通常のカミソリでは危ないので、電気カミソリを使うようにしていました』

6. 実際に障がいのある方の散髪をされていての感想や困ったことなどございましたか？

『一番困ることは、散髪中に動かれることかなと思います』

『それは小さなお子さんも同じですが…』

7. 障がいのある方の場合、家族さん、スタッフさんなどが付き添っておられると思いますが、何かこのようなサポートがあるとやり易いなどございますか？

『サポートというのは思いつきませんが、まれに髪の毛に何かが付いて固まっていることがあるので、「来られる前の寝ぐせ直し」ぐらいでしょうか』

『散髪の途中で、ケープを外されてしまう方については、手を添えるなどいただけると、とても助かります』

→いくら名人とはいえ、付き添い者と仲井さんと、そして散髪を受けられる方の協働で散髪はなりたっているのですね

8. 最後に、今後の夢や、どのようなお店にされたいなどお聞かせていただけると嬉しいです

『今後は「現状のキープ」が目標です。生活出来れば良いので、大規模他店に押しつぶされず、現状キープが出来ればいいです』

仲井信夫さん

インタビューの中で、再三おっしゃっていたのが「普通」や「現状キープ」というキーワードでした。魔法の正体は何か？探ってみようと思って、インタビューさせていただいたのですが、仲井さんの常に『自然体』な姿勢が、障がいのある方に安心感を与え、苦手な散髪も落ち着いて受けることが出来ておられるのだろうということを感じました。

仲井さんの飾らない笑顔がとても素敵で印象的でした。仲井さん本当にありがとうございました。そして、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

インタビュアー　平野 貴久（地域生活支援部 部長）

平成28年度 業務貢献表彰 優秀賞（法人内表彰制度）

レジデンスなさはらPDCAサイクルによる満足度の向上

レジデンスなさはら管理者・地域生活支援部部長
社会福祉士・介護福祉士 平野貴久（ひらの たかひさ）

1 はじめに

レジデンスなさはらは、共同生活援助（グループホーム）事業を行っており、最重度の知的障がいのある方、および自閉スペクトラム症があり、尚且つ行動上の障がいのある方20名が生活されています。

開設当初は、非常に対応が難しいご利用者が多いことから、職員の心身のストレスや負担が大きいことが課題としてあがっていました。なかなか支援が上手く行かないことから、疲弊される方も多く、結果として退職につながってしまうこともありました。

また、ご家族はとても熱心な方が多く、ホームに対する期待も大きかったことから、当初は、ご期待になかなか添えないこともあり、ご心配をお掛けすることも多く、ご意見やときにはクレームをいただくこともありました。

しかし、ご家族のご意見や支援員からの話を聞くと、とても的確なものが多く「非常にありがたいこと」だと考え、それを改善につなげる仕組みはできないかと考えました。

2 解決法

ご家族の満足度、働いている職員の皆さんの満足度をあげることが、ご利用者の支援を良くすることにつながり、結果として、レジデンスなさはらの目的である「地域での豊かな暮らしの創造」につながると考え、ご家族には「満足度・不満足度調査」を、職員には組織の「強み・弱み調査」を実施しました。

(1) ご家族に対しての調査

「満足度・不満足度調査」は年2回実施し、満足かそうでないかを尋ねる形式ではなく「満足していること」「不満足なこと」に分けて全て記述式にしました。その理由は、チェック形式だと、多少不満足なことがあっても、満足にチェックされる可能性が高いことや、何よりも具体的に不満足に感じておられる内容をお聞きしたかったためです。

「満足」にあがったことはより磨きをかけ、「不満足」にあがったことは、レジデンスなさはらの事業計画に改善計画としてあげ、不満足だった内容を改善し、満足していただけるよう取り組みました。

(2) 職員に対しての調査

組織の「強み・弱み調査」を年1回1月に実施し、レジデンスなさはらの組織体制、支援体制、環境等々の中で、「強みと感じること」「弱み（まだまだ未整備な所）と感じること」を全職員に確認しました。これについても全て記述式とし、具体的な内容を拾えるようにしました。

※「強み」に上がる内容は満足していること、「弱み」に感じていることは、不満足に感じていることと置き換えられると思います。
そして「強み」にあがった内容はさらに磨きをかけ、「弱み」にあがった内容は翌年のレジデンスなさはら事業計画に改善計画としてあげ「弱み」から「強み」へと変換をすることで、職員の満足度の向上につながるように取り組みました。

(3) 具体的な内容

●ご家族の「満足度調査、不満足度調査」からの改善計画例

年度	不満足に感じていること	改善計画
26年度	職員さんの名前が分からない 夜間のスタッフの顔が知りたい	スタッフの写真一覧を作成し配布した 親の会でスタッフを紹介
	部屋の温度が寒く感じました	全ての部屋に温度計・湿度計を入れて快適な温度、湿度管理
27年度	スタッフ間の引き継ぎが心配	引き継ぎ表を改訂し、引き継ぎの強化
	配付物が遅くならないようにして欲しい	法人本部と連携し、配布のタイミングを調整 困難な場合は即座に郵送
28年度	担当職員とゆっくり話をしたい	グループごとに担当の職員との懇談会を開催
	周辺の環境をもっと良くして欲しい	周辺の雑草等の環境整備の実施 送迎車の通路の拡張工事を実施

●職員の「強み・弱み調査」からの改善計画例

年度	不満足に感じていること	改善計画
26年度	週末勤務の職員に情報が届いていない	会議の議事録を会議終了後２日以内に回覧、掲示版に情報の提示を行った 引き継ぎ表を改定
	リスクマネジメントが弱い	リスクマネジメント体制やしくみを整備し、研修会を開催
27年度	余暇支援がまだまだ弱い	ご利用者の「意思」の尊重と「豊かな暮らし」をテーマとして、余暇支援の充実を図り、取り組みを開始
	職員のケガが多く職員態勢が厳しい	ご利用者の利用促進を図ることで、事業収入を増やし、職員体制の充実を図った
28年度	職員間のコミュニケーションの時間がとれない	勤務調整を行い、毎週火曜日にグループミーティングを開催 毎週１５分間研修を実施
	非常勤職員の研修制度や外部研修の参加が充実していない	法人の「部署間交流研修」を活用し、他部署の見学や研修への参加を促進 外部研修にも積極的に参加できるようにし、北海道まで視察研修に行くケースも。研修で得た内容や情報は、フィードバックできる仕組みを作成

上記のように、ご家族が「不満足」に感じておられること、職員が組織の「弱み」だと感じていることに対し、事業計画内に改善計画としてあげ、組織的に解決することで、「不満足」を「満足」へ、「弱み」を「強み」へと変換することを実感できるようになりました。

3　結果

(1) ご家族の満足度

ご家族との懇談会でも「なさはらに入居して良かった」「職員さんとのコミュニケーションがとれるようになり、さらに安心と信頼が高まりました」といった意見を伺えるようになりました。以下は「満足度・不満足度調査」での満足度の割合の推移（3年間）を表にしたものです。確実に満足に回答された数があがっていることが分かります。

実施年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
満足回答数	59	52	72
不満足回答数	23	18	19
満足回答割合	71%	74%	79%

ご家族の満足や「安心」「信頼」の向上は、支援にも反映されており、ご利用者の満足度の向上にもつながっているのではと考えています。

(2) 職員の満足度

職員の平成28年度の調査の組織の「強み」では、以下のような内容の意見が多数あがりました。「チームワークの良さ11件」「職員間の風通しの良さ12件」「職場のいい雰囲気11件」「魅力のある職場10件」「職員の助け合いの精神が素晴らしい10件」「研修の充実10件」「ミーティングの充実10件」などの項目が並びました。その結果、離職率が22%（平成24年度）から9%（平成28年度）に改善されました。以下は回答の中で「強み」にあがった件数の割合の推移を表にしたものです。こちらも「弱み」の回答が減り、「強み」の割合が向上していることが分かります。

実施年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
強み回答数	140件	128件	138件
弱み回答数	105件	69件	55件
強み回答割合	57.1%	64.9%	71.5%

組織の「強み」が増えることは、職員の満足度の向上と捉え、職員の皆さんがいきいきと働いておられることは、サービスの質の向上につながり、結果としてご利用者の生活の向上につながっていると実感しています。

(3) 組織の変化

上記で紹介した、ご家族の「不満足」を「満足」へ、組織の「弱み」を「強み」へ変換するという作業は、レジデンスなさはらの組織風土となり、常に現状を分析（アセスメント）し、より良い方向性や、あるべき姿に向けた改善を行うという、PDCAサイクルをまわして取り組む文化につながっています。当然ながら個別支援計画やリスクマネジメントの充実にもつながっており、常に前を向いて循環するという「元気な組織」であることも実感しています。

(4) ご利用者の生活の変化

常にPDCAサイクルを回すという組織風土は、支援にも良い影響をもたらしました。ちょうど「意思決定」支援の試みを開始した時期とも重なったこともあり、ご利用者の「意思」を尊重した生活の支援や、余暇の充実につながっています。ご利用者の生活にも、良い変化をもたらしているように感じます。

4　さいごに

レジデンスなさはらは、開設から6年目を迎え、様々な面で、良い方向に改善してきたとはいえ、まだまだ解決すべき「不満足」や「弱み」は、たくさん残っています。また、ご家族や職員への満足度調査はできているものの、ご利用者に対して、本当の意味での「満足・不満足」の調査が実施できている訳ではありません。今後は、「意思決定」支援の充実を図ること、ご利用者に表出コミュニケーション支援を実施すること等で、真のご利用者ニーズや「意思」を生活に取り入れられることを目標に、努力していきたいと考えています。

平成28年度　業務貢献表彰 優秀賞（法人内表彰制度）

大阪府への新規事業提案について

～『大阪府発達障がい者地域支援マネージャー事業』の提案と実施～

大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか　主任
臨床発達心理士・保育士　岩城（いわき）　望（のぞみ）

平成１４年６月に開設した大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか（以下、アクトおおさか）は、当法人が大阪府から「発達障害者支援センター事業」の委託を受け、乳幼児期から成人期の発達障がいのある方やそのご家族、関係機関からの相談をお受けしています。

アクトおおさかでは、ご本人・ご家族からの直接の相談をお受けした後、ご本人の住む身近な地域でニーズに応じた支援が受けられることを目指して、各地域の支援機関に積極的に出向き、ご本人の特性をお伝えしたり、支援方法の共有を図ったりすることに重点を置いて支援に取り組んできました。（図１）

〈図１ 事務所や地域との連携件数推移〉

（下段：個別のケース会議　上段：コンサルテーション）

厚生労働省も、発達障害者支援センター事業については、図２のように『中核機関としてセンターに求められる市町村・事業所等のバックアップや困難事例への対応等が、センターへの直接の相談の増加等により十分に発揮されていない』ことを課題として挙げており、さらなる地域支援機能の強化を図り、支援体制を整備することを提言しています。

この流れに沿ってアクトおおさかでは、大阪府においても地域支援体制の強化を目的とした事業展開が必要と考え、大阪府担当課（福祉部障がい福祉室地域生活支援課発達障がい児者支援グループ）に対し、新しい事業展開に関する提案を行いました。

まず、平成27年度4～7月に、地域支援体制の強化を積極的に取り組んでいる他府県の情報収集を行いました。そこで、今後の支援のあり方を検討していく上で、経年での取り組みを大事にするという気づきを改めて得たことで、アクトおおさかにおけるこれまでの事業展開（特にコンサルテーション事業）の取り組みについて振り返りました。

これまでアクトおおさかは継続してコンサルテーションを実施してきています。（図３）

開設当時は、幼児・学齢期の療育支援モデル事業として通園施設・学校へのコンサルテーションと、知的障がいの伴う発達障がいのある方が利用している入所施設・通所施設へのコンサルテーションを実施していました。

平成19年度に特別支援教育が開始され、また、府内の療育拠点が整備されてからは、青年・成人期、特に知的障がいの伴わない発達障がいの

ある方への支援に重点を置き、厚生労働省平成22年度発達障害者支援開発事業「成人期支援プログラム普及開発事業」の成果をモデルとした事業展開を行ってきました。

こうした経年での個々の“事業所”単位での啓発を重ねてきた結果、コンサルテーションを行った事業所側から「関係機関も参加できる研修等を実施したい」というニーズが、平成26年度あたりから多くあがるようになりました。これはまさに開設当初からのアクトおおさかのコンセプトである、“点”での啓発から、“面”への啓発へと広がりを見せたものだと感じています。

この流れを踏まえ、アクトおおさかとして次に目指すところは自立支援協議会を軸とした「地域単位での啓発」という方向性だと明確になりました。そして、平成28年度より「地域支援マネージャー事業」として、新規の事業化がなされることとなりました。

対象市町村を決定した後の訪問には、大阪府担当課とアクトおおさかが共に市町村に出向き、事業の説明や、それぞれの市町村での課題についての聞き取りを実施しました。そして、地域それぞれのニーズに応じて、発達障がいの基礎的な講義や事例検討等を実施しました。

地域支援マネージャー事業の実施を通して、これまでのコンサルテーションとの違う点は、①福祉サービス事業所だけではなく、教育機関や行政機関の参加が大幅に上がったこと、②コンサルテーションを受ける立場にある地域の自立支援協議会が、その地域のニーズを明確に把握されている場合は、この事業をどう活用するかにあたっての方向性が明確であったため、市町村が主体となった、より効果的な事業実施ができたことです。

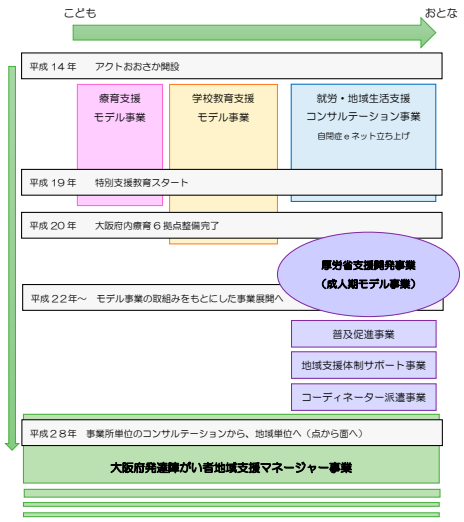
平成28年に改正された発達障害者支援法の中でも、発達障害者支援センターは「可能な限り身近な場所で必要な支援が受けられるよう配慮する」と記載されたことからも、今後、より地域との協働は必要不可欠となります。法人の理念「地域に生きる」の実現のために、そして、発達障がいのある人が身近な地域で安心して暮らし続けるためにも、次年度以降もこの事業に力を入れて、取り組んでいきます。

最後に、地域支援マネージャー事業を活用してくださった各機関の皆さま、情報収集のために訪問させていただいた、おかやま発達障害者支援センターの皆さま、事業実施にあたって協働していただいた関係機関の皆さまに感謝し、御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

〈図２ 発達障害者支援センターの地域支援強化〉

※厚生労働省ホームページより

〈図３ アクトおおさか
これまでのコンサルテーション事業〉



平成28年度 業務貢献表彰 優秀賞（法人内表彰制度）

レスパイトサービスから個別支援へ

ショートステイセンターぶれす
支援員 村田拓也（むらた たくや）

■ はじめに

ショートステイセンターぶれす（以下ぶれす）は、入所施設「萩の杜」の中にある併設型のショートステイ事業所です。短期入所（宿泊）5名、日中一時支援（日帰り）10名の最大15名定員ですので、平均すると1日約10～13名ほどの方が利用されています。

ぶれすではこれまでショートステイサービスの社会的役割として“※レスパイトケア”の機能強化を目的に取り組んできました。緊急利用や近くに利用できる事業所が無い他市町村からの受け入れなども積極的に行っており、自閉スペクトラム症や精神障害、難病など様々な障がいのある方が利用されるようになりました。その結果、行動面に課題のある方への支援の増加と、コミュニケーションの表出が苦手なご利用者へのきめ細やかな支援がさらに必要になりました。

「ショートステイは子どもを預かって貰っている場所なので、多少不調になっても仕方がない」といった声をご家族から聞くこともあり、支援員として何とかしたいとの思いがありました。そのため、レスパイト機能の本質は単に“預けてご家族が助かる”だけでなく“ご家族もご利用者も安心できる”であると捉え直し、支援環境の見直しを行いました。その取り組みの一部をご紹介いたします。

※**レスパイトケア**：ケアを担っている家族の病気や事故、冠婚葬祭などの社会的事由や介護疲れというような私的事由による家族支援サービス

■ 環境の整備

①視覚的にわかりやすいように

コミュニケーションやイマジネーションに苦手さがあり、刺激に過敏な自閉スペクトラム症のご利用が多いため、基本的な支援として視覚的な提示を行いました。まずはホール（過ごしの場所）内にスケジュール、給食のメニュー、自由時間を過ごすためのグッズを視覚的に提示しました。また、パソコンや制作作業がお好きな方には、グッズの一部を職員と共に作成していただきました。スケジュールのボードや、給食メニュー、提示用の写真などの作成に興味を持たれる方も多く、色を塗る作業、切る作業にも、積極的に取り組んでおられます。

②個別に安心できる空間をつくる…

支援環境として個別にあわせた部屋が少ないという課題がありました。そのため、他の方が気になって上手く過ごすことが難しいご利用者もおられます。ホールの中にパーテーションを使った個別の部屋を設置し、安心して過ごせるようにしました。また、ご利用者1人ひとりに合わせ調整を行うため、持ち運びやすい素材を使用しています。

ホールの様子

■ 個別の特性や課題に合わせた支援

ショートステイ事業の課題として利用された日のみの“点”での支援となりがちであることが挙げられます。また、ご利用者の状態が変化していることもあるので、支援記録の読み返し、他事業所からの情報確認、本人からの聞き取りの３点から個別に課題を整理し、その課題に合わせたスケジュールの準備や役割の設定、自由時間の過ごし方を選択できるツールを作成していきました。

個別スケジュール・寝るカード

帰る時間の提示

■ さいごに

この取り組みにより、個々のご利用者の特性にあわせて視覚的に確認出来る場面を増やすことができました。以前は欲しいものをうまく伝えることが難しかった方が、余暇支援グッズの提示ボードの写真を使って欲しいものを支援員へ伝えてくれる場面や、次の活動の見通しが明確になったことで、不安からくる行動面の課題が大幅に減少しています。

自由時間の過ごし方についても力を入れており、ご利用者の得意なことを活かした作品作り等、余暇の過ごし方の活動選択に取り組んでいます。毎月のカレンダー作りや施設の一部の空間を使って季節の飾り付け、好きなDVDをレンタルするなど、それぞれの余暇の幅も少しずつ増えつつあります。

ぶれすでは、ご利用者の“安心”を第一に考え、「ぶれすにまた来たい!」と思って頂けるような事業所を目指しています。まだまだ取り組むべきことは多くありますが、引き続き個別支援を大切にしていきたいです。

カレンダー

飾り付け

高槻市巡回支援専門員整備事業について

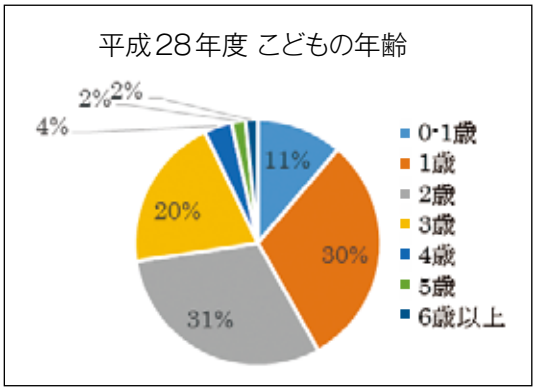
こども発達支援センターwill 支援員
臨床心理士　小林一恵（こばやしかずえ）

【はじめに】

巡回支援専門員整備事業とは、発達障がい児等の福祉の向上をめざして、子どもや保護者が集まる施設・場を巡回し、支援を担当する職員や保護者に対し、発達障がいの早期発見・早期対応のための助言などの支援を行う事業です。高槻市から平成25年度より事業委嘱を受けています。

【活動内容について】

高槻市内の子育て支援センター2か所、子育てひろば13か所を定期的に訪問し、こどもには関与しながらの観察を、保護者／支援者には相談・助言を行っています。そのほかに、幼稚園や保育所、認定こども園などからのニーズに合わせて訪問し（28年度は計8か所）、支援者に向けての助言をしています。下記グラフは平成28年度の相談内容を表にしたものです。



対象児は1～3歳児が中心で、相談内容は対人関係（同年齢児とのトラブル）言葉の遅れ、遊びからの切換えのむずかしさに関するものが多くを占める一方、睡眠・食事・排泄など生活面でも多岐に渡っているのが特徴です。また、これら生活面の相談の背景に感覚の特異性や同一性保持傾向・ことばの理解や対人相互性の問題が存在すると推測される事態をしばしば体験しています。その他、育児をめぐるお母さんご自身の葛藤やご家族との軋轢についての相談も多くみられます。

【残された課題として】

支援センターと子育てひろばでは、子どもの自然なありようの観察と保護者にとって身近な場所での相談が可能といった利点がある一方、プライバシー保持のむずかしさが存在します。さらに、現代社会特有の育児情報の氾濫と孤立した育児といった相談者を取り巻く状況、スマホなど子どもを取り巻く刺激の多さが育児そのものに困難さをもたらしています。その上に発達障がいについての正しい知識の乏しさ、専門機関（医療機関・療育機関）の待ちの長さ、早期からの支援機関の不足などの問題が重なり時機を得た支援を妨げています。幼稚園・保育所でも支援者の発達障がい理解の有無がその後の具体的支援の成否をわけ、家族の障がい受容についての課題がここでもまた多く語られるというのが現状です。

発達障がいの特性や支援法について学び、すべての困り感のある子どもたちやその家族が地域で合理的配慮を受けられるようになることが急がれます。こうした特性理解は、生涯を通じての支援の始まりとして、なによりも早期からの適切な支援の基準として位置づけられると思われます。そのための第一歩になるような訪問を心がけたいと思っています。

杉の子いいね!

レッツ クリエイティブ アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

ジョブサイトひむろ　明定武司さん作

●スタッフのコメント

絵を描くのがお好きで、休憩時間などによく描かれています。
アニメのキャラクターや写真の模写だけでなく、ご自身のオリジナルの作品も描き出されます。
色彩も豊かでどれも魅力的な作品ばかりです。出来上がりを拝見したときはいつも心をつかまれています。

ベジタブル戦士：この作品は、野菜の本を見て好きな野菜を描いていただくようお願いしたときのものです。
「できたー」と言われ見せていただくと野菜が戦士へと変身し、とてもパワフルでたのしい世界が画用紙いっぱいに広がっていました。

北摂杉の子会のホームページ　更新情報

（平成29年３月～５月）

北摂杉の子会のホームページ（http://www.suginokokai.com）では、
様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。
過去３ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。
ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。
ご興味のある方は『**北摂杉の子会**』で検索して、ぜひアクセスして
ご覧ください！

掲載ページ	内　　容
各施設のご案内	ジョブジョイントおおさか　　平成29年度 働くチカラPROJECT 始動
	児童発達支援部　平成29年度　淀川区ピアカウンセリングのご案内
	児童発達支援部　すぎの子はったつ通信　３月号
お知らせ	月刊「さぽーと」２月号に、萩の杜施設長　勝部真一郎が執筆
	月刊「LD/ADHD&ASD」４月号に、ジョブジョイントおおさか所長　星明聡志が執筆
	月刊福祉４月号に、LaLa-chocolat TAKATSUKI、ぷれいすBe、こども発達支援センターwillが掲載
	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修　開催
よどのコロッケ	よどのコロッケかわら版更新
	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	Café Be ミュージック・ディ情報更新

＊＊＊ 萩の杜 寄付受領のご報告 ＊＊＊

2017年６月17日（土）高槻現代劇場にて開催された“第19回 スマイル体操発表会”にてチャリティー募金によるご寄付をいただいたのでご報告いたします。

本発表会を開催された“スマイル体操研究会”さまは、名前に“スマイル”とある通り、体操を通じてみなさんが笑って、踊って、歌って、楽しみながら健康に過ごしていくことを願い、会長の臼井清子さまが37年前に茨木市にて立ち上げた団体です。現在では高槻市、茨木市を中心に約25教室を運営されており、メンバーのみなさまは週１回の方や週４回の方など、個々の状況に合わせた活動をおこなっているとのことです。テレビ出演や海外公演の実績もあり、最近では高槻市に会場を移し年１回の発表会を開催しておられます。発表会では毎回チャリティー募金をおこない、集まった募金を社会福祉法人等へ寄付されています（萩の杜は2002年にもご寄付いただいており、今回で２度目となります）。

皆様方の心温まるご寄附を、ご利用者の高齢化に伴う、施設の補修（手すりの設置等、個別にあわせた環境整備）費用として大切に使わせていただきたいと考えています。

臼井清子会長はじめスマイル体操研究会のみなさま、会場等にてチャリティー募金にご協力いただいたみなさま、ほんとうにありがとうございました。

❖ 人材育成研修室（講師派遣・コンサルテーション）のご案内 ❖

昨年度、法人の総務部の中に人材育成研修室という部署がもうけられました。これまでの研修相談支援室の業務を引き継ぎ、さらに発展させていくことを狙いとしております。自閉症スペクトラムを中心に、発達障がいのある人に適切な支援ができる人材を育てていきたいと考えております。

単発の講師派遣に加えて、定期的なコンサルテーションの契約を交わした法人も幾つかあり、府外の施設へも出向いて、支援の現場を見ながら具体的な助言や、講義やグループワークなどを通じて、支援員さんのスキルアップをお手伝いしています。

近年、障がい者権利条約が批准され、差別解消法や虐待防止法ができました。そんな中で重要視されているのが、合理的配慮です。発達障がいの人への合理的配慮がスムーズに構築できる支援者を育成できればと思っています。

❖ 平成27年度　講師派遣実績

単発講座
和泉市教育委員会
いちょうの森
一般財団法人　女性労働協会
茨木市総務部人事課
茨木市男女共生センターローズ WAM
大阪肢体不自由児者父母の会連合会
大阪府社会福祉協議会　研修グループ
大阪府社会福祉協議会 社会福祉研修センター（通所）
大阪府立　泉北高等支援学校
親の会　はぐくみ
学校法人追手門学院 こども園小中校・教員全体研修会
岸和田市障害者自立支援協議会 PRイベント
子ども発達支援センター　Sun
四條畷市障がい福祉課
芝谷中学校区　合同研修会
島本町立　第二小学校
社会福祉法人息吹　パオみのお
摂津市教育センター
相談支援センター　あおぞら
高槻市夏季セミナー 特別支援教育分科会
高槻市立　第八中学校
箕面市教育委員会

実践報告会　2件

連続講座
高槻市教育センター
泉大津市教育委員会
摂津市教育委員会
泉大津市教育委員会　テーマ別研修

コンサルテーション
大阪学院大学
社会福祉法人来島会　南海学園
高槻市立　阿武野小学校
高槻市立　如是中学校
高槻市立　城南中学校
高槻市立　阿武野小学校
摂津市立　鳥飼北小学校
摂津市立　鳥飼西小学校
摂津市立　第二中学校
豊能町立　吉川小学校
和泉市立　横山小学校
和泉市立　北松尾幼稚園
和泉市立　石尾中学校
和泉市立　富秋中学校
泉大津市教育委員会

❖ 平成28年度　講師派遣実績

事業所
とよなかファミリーサポート・センター
障害者生活支援センター遊び雲
枚方市子ども総合相談センター
大阪府社会福祉協議会
美山育成苑
枚方療育園（第二博愛）
特定非営利活動法人ライフサポートはる
有限会社　クレセント
高槻市民生委員児童委員協議会
高槻市認定こども園
児童発達支援センターくすの木園
一般社団法人鳥取県社会福祉士会
寝屋川市社会福祉協議会
豊中市障害者居宅介護・移動支援事業者連絡会

事業所コンサルテーション
名張育成会　名張育成園成峯
社会福祉法人来島会　南海学園
社会福祉法人来島会　今治福祉園
社会福祉法人　一羊会　カノン今津

行政・教育委員会
守口市教育委員会
泉大津市教育委員会
摂津市教育委員会
箕面市教育委員会
和泉市教育委員会
豊能町教育委員会
高槻市教育センター
寝屋川市　障害福祉課
岸和田市　障害者支援課
高槻市立第七中学校

大学コンサルテーション
大阪学院大学

❖お問い合わせ
人材育成研修室　担当：堀内・河辺
TEL 072-662-8133
FAX 072-662-8155
Eメール info@suginokokai.com

掲示板コーナー

（平成29年3月から平成29年5月まで）

法人本部総務部 掲示板

3月	行　　事
3日	内定者施設見学会
4日	大阪府社会福祉協議会 福祉就職フェア
6·21日	経営会議
10·24日	運営会議
8日	佛教大学内採用説明会
17日	医療連携推進室会議
	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修
20日	FACE TO FUKUSHI　就職フェア
22日	総務管理会議
25日	法人採用説明会
26日	第107回理事会・第63回評議員会 第１号議案　諸規則、規程類の改正の件 第２号議案　部長人事の件 第３号議案　第４次中期計画案の件 第４号議案　平成29年度事業計画の件 第５号議案　平成29年度予算の件
28·29日	採用応募者見学会

4月	行　　事
1日	法人採用説明会
4日	自閉症啓発デーイベント
5·7 11·13日	採用応募者見学会
6·24日	経営会議
7日	医療連携推進室会議
14日	権利擁護虐待防止委員会
14·28日	運営会議
16日	採用筆記試験

4月	行　　事
20·21日	採用一次面接試験
20日	平成29年度　第１回法人研修 • 平成29年度理事長方針の発表 • 各事業所の事業方針の発表 • 新入職員紹介 • 資格取得、業務貢献表彰 • 業務貢献内容発表 • 大阪10区選出の衆議院議員と語ろう 衆議院議員　辻元清美 氏 障がい者福祉のこれからのカタチ ～私たちの夢や想いをカタチに～
25日	総務管理会議

5月	行　　事
8·22日	経営会議
10日	追手門学院大学内採用説明会
11日	採用二次面接試験
12·26日	運営会議
16日	関西学院大学内採用説明会
24日	総務管理会議
25日	医療連携推進室会議
28日	新第108回理事会 第１号議案　理事・監事候補者推薦の件 第２号議案　役員等の報酬に関する規程改正案の件 第３号議案　平成28年度事業報告承認の件 第４号議案　平成28年度決算承認の件 第５号議案　平成28年度監事監査報告の件

（河辺　記）

法人採用説明会

法人研修　辻元清美 氏をお迎えして

FACE TO FUKUSHI　就職フェア

萩の杜 掲示板

新人紹介

2017年度は2名の新入職支援員が萩の杜に来てくれました。
新しい支援員が、新しい視点でご利用者と接している姿にベテラン支援員も学ぶことも多いです。

さかもとれいな
坂元伶奈です。
今は毎日が楽しくて、
新鮮です。

むらかみかつと
村上捷斗です。
ご利用者の
人生について考えながら
支援していきたいです。

買い物外出

ご利用者の日常的な意思決定の機会を増やせるように、萩の杜では「買い物外出」に取り組んでいます。
ご利用者の特性に配慮して、予定や買う物を目で見てわかりやすいように伝えることで、安心して外出し、選ぶことが苦手な人でも選びやすいように支援しています。
個別の外出のため、頻繁に行けないことが課題ですが、こうした視点を大切して継続していければと思います。

【買い物の流れ】

① スケジュールを確認して出発。「トレーナー」「ズボン」など買う物の種類と数を伝えています。

② まずは、腹ごしらえ。

③ 好きな服を選んでいただきます。

初めて一緒に買いものに行った
ご利用者がご自身の好きな
緑色のTシャツをしっかりと
選んでいる姿をみて、
嬉しくなった支援員が
自分たちも同じ物を買いました♪

（山根　記）

ジョブサイトひむろ掲示板

バンド演奏会

今年も「片山ハッピーミュージック」さんがバンド演奏をして下さいました。
皆さんの良い表情やノリノリで踊る姿で会場が一杯でした。

3月21日(祝)
@カフェ Be

5月レクリエーション

伊丹空港
5.11

イオン茨木
5.19

京都市水族館
5.31

大山崎散策
5.31

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

3月	行　　事
1日	メンター派遣：池田市子ども・健康部 発達支援課 やまばと学園「キッズ母の会」
3日	ご家族向け学習会「利用できる社会資源について」
11日	平成28年度 大阪府ペアレント・メンター養成研修 スキルアップ研修 「メンター活動の中で、自分の体験を伝えるための工夫」 講師：大阪大学キャンパスライフ支援センター　副センター長　望月 直人 氏
13日	地域支援マネージャー事業　門真市障害者地域協議会児童専門会議に参加
16日	地域支援マネージャー事業　泉佐野市・田尻町自立支援協議会に参加
17日	メンター派遣：豊能町教育委員会 吉川小学校支援入級児童の保護者、支援学級教諭向け勉強会
21日	「大阪府発達障がい児者支援施策等にかかる市町村説明会」にて事業説明

4月	行　　事
2日	世界自閉症啓発デー　大阪城ライトアップイベントに参加
7日	発達障がいシンポジウム「世界自閉症啓発デー in OSAKA 2017」に参加
9日	JDDnet大阪「発達障害のある学生への就職に向けての支援と課題」に参加
25日	大阪府地域生活支援課発達障がい児者支援グループと今年度事業打ち合わせ
	大阪府こころの健康総合センター訪問

5月	行　　事
9日	ペアレント・トレーニング事業打ち合わせ
12日	ペアレント・メンター派遣事前打ち合わせ（たかつガーデン）
26日	地域支援マネージャー事業　羽曳野市訪問
30日	大阪府相談支援従事者専門コース別研修（発達障がい支援コース）にて講師
31日	地域支援マネージャー事業　東大阪市訪問

（内田　記）

世界自閉症啓発デー
（通天閣のブルーライトアップ）

児童発達支援部

療育の様子

療育の中で、
お子様が作られた
ペーパークラフトの
大阪城です!

順番交代で、
ポケモンをゲットだぜ★

リラックスエリアで、
お気に入りのグッズで、
休憩中♪

クリスマスパーティの準備や
クッキングをしました (*^_^*)

コンサルテーション事業

平成29年度も、
高槻市･摂津市･豊能町の小中学校に、
巡回相談や特別支援教育研修を
させていただいています。

部内研修

個別支援計画について、部内研修をしました。
研修の一貫として、職員自身の個別支援計画も、作成しました。

（西ヶ峯･無図口　記）

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

「よどのコロッケ」

販売チーム♪

本当においしいからこそお客様に
食べてもらいたい!!

製造チーム♪

より美味しいものをお客様へ
そんな気持ちが込められたコロッケです

旬のコロッケ♪

コロッケを通して季節を感じて貰いたい
今回は筍が入っている筍コロッケ!!

「職員研修」

よど/ジェイ・ブランチ全職員を対象に
定期的に研修をし、支援の向上に尽くしています

「よど/ジェイ・ブランチちょっと一休み」

お世話になったスタッフのお別れ会や
晴れた日に淀川河川敷でゆっくりと過ごす時間。
皆さんとても笑顔で過ごされています。

ぷれいすBe掲示板

新年度となり、新たにご利用者7名が通所を開始しました。
今回も土曜日を中心に様々な余暇・外出プログラムを実施しましたので
ご紹介させていただきます。

4月

Be級グルメ

PWネットワーク様と

ＢＢＱ

5月

エキスポシティ

山田池公園

花博公園

外 食

（下　記）

ジョブジョイントおおさか -たかつきブランチ- 掲示板

3月	行　　事
1日	健康診断（十三）
4日	AM：土曜開所日、家族ミーティング PM：JJOBの会（就職者向けサービス）、 大学生事業（就活のハジメ）、 じょぶよる（就職者サービス）
14日	事業所見学会（高槻）
15日	働く力PROJECT実践報告会（大学生事業）
24日	健康診断（高槻）
28日	事業所見学会（十三）

4月	行　　事
11日	事業所見学会（高槻）
17日	企業意見交換会（企業向けサービス）
25日	事業所見学会（十三）

5月	行　　事
9日	事業所見学会（高槻）
12日	じょぶよる（就職者向けサービス）
20日	AM：土曜開所、働く力PROJECT説明会 PM：家族ミーティング、 ジョイふるJJ（就職者向けサービス）
23日	事業所見学会（十三）

（山田　記）

UVレジン作品作り

大人の社会見学

生産活動支援部 掲示板

LaLa-chocolat TAKATSUKI
（ららしょこら　たかつき）

5月より、新しいお仕事を受注しました。
高槻市役所の南側花壇の植栽、
及び、お花の水やりのお仕事です。
暑い中、みなさんていねいに花を植え、
定期的にお水やりをしています。
高槻市役所にお越しの際は、
ぜひ一度、ご覧ください♪

萩の杜家族会 掲示板

3月	行　　事
23日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）
26日	カトリック高槻教会にて花販売

4月	行　　事
10日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加と贈呈式出席
14日	定期総会（高槻現代劇場） 出席24名、委任状16名、欠席10名 • 28年度活動報告 • 28年度収支報告と監査報告 • 29年度萩の杜家族会の組織の決定と各役員の選出 • 29年度事業計画 • 29年度予算計画 • 松上理事長　第４次中期計画、年度方針、活動のポイント • 勝部施設長　萩の杜中期計画、29年度事業計画 • 平野理事　萩の杜の従たる事業所移転の進捗状況 • 本田会長　勉強会の継続、借入金完済後の取り組み、地域への普及活動への支援
18日	家族会会長会議（本田会長出席）
23日	カトリック高槻教会にて花販売
24日	安全対策委員会
27日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）

5月	行　　事
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加
25日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）
28日	カトリック高槻教会にて花販売

（植松　記）

イオン　イエローレシートキャンペーンについて

スーパーマーケットのイオン高槻店では、毎月11日をイエローレシートキャンペーンの日としてその日のレシートは黄色で発行されます。このレシートの金額の1%がレシートを収集した団体に寄贈されます。毎年4月11日に、1年間に収集したレシートに対するギフトカードの贈呈式が行われます。

贈呈式の様子

萩の杜家族会が全16団体中第1位になったことを示す成績表です。
（7年連続第1位）

ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

3月	行　　事
22日	第７回役員会　総会準備　新旧役員引き継ぎ
25日	グループホーム入居希望者の会（今城塚公民館）　出席（会員７名・東 会長）
26日	北摂杉の子会　理事会・評議員会（生涯学習センター）　出席（東 会長）

4月	行　　事
11日	第８回役員会　総会資料作成　（法人本部）
25日	定期総会（生涯学習センター研修室） 出席者　会員48名　欠席１名　委任状８名（ララショコラも含む） 総員57名　ララショコラ会員も含む 来賓　松上理事長　平野理事 ジョブサイトひむろ 森田施設長　生産活動支援部 木戸部長 第１号議案　平成28年度行事活動報告 第２号議案　平成29年度会計報告及び会計監査報告 第３号議案　平成29年度行事計画の件 第４号議案　平成29年度予算計画の件 第５号議案　平成29年度役員及び会計監査、参与選任の件 以上の議案すべて承認 • 松上理事長より「平成29年度北摂杉の子会年度方針」の説明 • 森田施設長より「平成29年度事業計画」の説明 • 平野理事より「ひむろ移転計画、グループホームみやたの移転計画、新規グループホーム建設計画」の説明 • ララショコラ木戸部長よりララショコラの現状報告 総会終了後　懇親会開催（桃莉）

（垣端　記）

平成29年度 ひむろ家族会新役員

後列左から　森田、平野、加藤、堀江、細見、三輪、高原
前列左から　村井、竹内、東、本射、垣端

ジョブサイトひむろ家族会懇親会　平成29年4月25日　「桃莉」にて

ジョブサイトよど＆ジェイ･ブランチよど家族会 掲示板

3月	行　　事
11日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 勉強会（保護者研修会）（淀川区民センター） ・「今こそ考える、障害と病気の違い」 講師　さわらび診療所　精神科医　稲垣亮祐 氏 ジョブサイトよど家族会（出席者：14名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：10名）
	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（淀川区民センター）
26日	北摂杉の子会理事会・評議員会 （生涯学習センター3階研修室／出席：永井、玉木）
28日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同定例会（淀川区民センター） ・「平成29年度事業計画について」「平成29年度工賃規定の改定」他 （田端施設長）

4月	行　　事
15日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど2階）
18日	家族会会長会　（法人本部402号室／出席：永井、玉木）
26日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同総会（淀川区民センター） ジョブサイトよど家族会（出席者：14名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：10名） 来賓出席：松上理事長、佐々木理事・総務部長、田端施設長

5月	行　　事
24日	北摂杉の子会後援会　定例役員会（高槻現代劇場403号室／出席：玉木）
27日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会　（ジョブサイトよど2階）

（永井　記）

ぷれいすBe家族会 掲示板

3月	行　　事
9日	役員会（ぷれいすBe会議室）　参加者：13名（来期役員候補者と施設長を含む） 審議報告事項 ・新役員（候補）との顔合わせ ・第８期定期総会の議案者の策定 開催予告、議事次第 第１号議案　平成28年度活動実績 第２号議案　平成28年度収支報告および会計監査報告 第３号議案　第８期役員・会計監査・参与等の名簿 第４号議案　平成29年度活動計画 第５号議案　平成29年度予算計画 ・掲示板原稿（12月～２月）確認
25日	グループホーム入居希望者の会（行動障がい対応型）、第1回会合（今城塚公民館）
26日	北摂杉の子会　理事会・評議員会（出席者：厚東）
31日	役員会（ぷれいすBe会議室）　参加者：10名（施設長を含む） 審議報告事項 ・第８期定期総会議案書の確定と配布 ・定期総会までの手順、役割分担、準備物等の確認 ・議長・議事録署名人の選出 ・第８期定期総会「お礼と報告」文書の確定

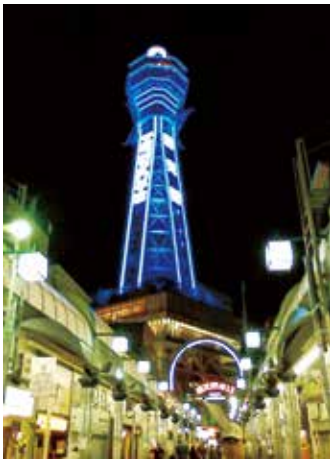
4月	行　　事
8日	第８期定期総会（カフェBe：10時～12時） 会員総数60家族、出席32家族、委任状26家族で総会成立 審議事項 ・平成28年度活動実績 ・平成28年度収支・会計監査報告 ・平成29年度役員・会計監査・参与選出 ・平成29年度活動計画案 ・平成29年度予算計画案に関わる第１号議案から第５号議案まで、すべて全会一致で承認（議長は伊藤さん） 議事終了後来賓の挨拶 ・松上利男理事長より平成29年度法人年度方針 ・平野貴久統括理事より第４次中期計画 ・下施設長より平成29年度活動計画の発表および新任職員２名の紹介 ・辰巳浩一郎様より「グループホーム入居希望者の会（行動障がい対応型）」の発足および世話人就任のご挨拶 その後質疑応答を経て、後援会入会のご案内 大門前副会長より閉会のご挨拶 「コールつばさ」の美しい歌声をしばし鑑賞したあと散会
13日	役員会（第８期）（ぷれいすBe会議室）（出席者：10名、施設長を含む） 審議報告事項 ・総会議事録、２人の署名人（財津様・徳永様）の確認、署名を経て確定 ・役員間の職務分担の決定 ・参観&ランチの年間スケジュールの決定、案内文書の確定と配布 ・新会員名簿の確定と配布 ・「特別会計（積立金）」使途について→定例会での議論を経て決定 ・上半期の活動→グループホーム見学会を企画 ・「Beどおし」原稿の確認 ・歓送迎会の日程調整
18日	家族会会長会議（出席者：厚東）

5月	行　　事
11日	役員会（ぷれいすBe会議室）出席者：10名、施設長を含む 審議報告事項 • 参観&ランチ、参加申込書の集計・整理、全５回の参加者名簿の確定と配布 • グループホーム見学会の企画・行き先「ぽんぽこ」（花の会）　担当役員：岡田 • 歓送迎会（日程、場所等の決定）　担当役員：田中 • 勉強会→日程は下半期、テーマは成年後見制 • 報告：「グループホーム入居希望者の会（行動障がい対応型）」第一回会合の様子とその後の経過
15日	「施設で行なう医療的ケア」後援会（企画：北摂杉の子会・医療連携推進室） 真野利之医師による講演（クロズバル高槻）14：00～16：00 会員有志の参加
24日	新旧役員歓送迎会（岡本町：夢一喜）　参加者12名　下施設長、平野理事もご出席していただく ありがとうございました／よろしくお願いします!!
	北摂杉の子会後援会役員会（出席者：厚東、和田：新会計として新たに参加）

（厚東　記）

自閉症スペクトラム児･者を支援する親の会 オアシス 掲示板

3月	行　　事
3日	オアシス役員会
6日	オアシスサロン（アーリーアーク404号）
11日	ペアレント・メンター（会長、副会長参加）スキルアップ研修

4月	行　　事
世界自閉症啓発デー関連　各種行事　参加	
2日	ブルーライトアップ通天閣の 点灯式、写真撮影
7日	大阪府シンポジウム
8日	映画「そばにいるよ! ～自閉症＜オーティズム＞と 車いすの監督～」 さをり織り体験
9日	JDDネット大阪 映画＆講演
8日	おやじの会（大阪自閉スペクトラム症協会との共催）
24日	オアシス役員会

5月	行　　事
15日	オアシスサロン（アーリーアーク404号）
22日	オアシス役員会

（坂地　記）

北摂杉の子会 後援会 掲示板

本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ジェイ・ブランチよど、ぷれいすBeの家族会の皆様のご支援を頂き、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

＜近況報告＞

3月　個人会員：482名、団体会員：27団体
　　合計：509名／団体　寄付：2件
4月　個人会員：405名、団体会員：24団体
　　合計：429名／団体　寄付：なし
　　（会員の退会あり）
5月　個人会員：412名、団体会員：24団体
　　合計：436名／団体　寄付：2件

＜行事＞

- 2017年（平成29年）度の定例役員会を開催しました（議事録抜粋）

日　時）2017年5月24日（水）15:30～16:30
参加者）役員10名中9名（委任状2名を含む）、監査役1名、事務局1名、相談役5名全員が出席

1. 2016年度の活動

1）会員数
個人会員：462名、団体会員：27団体、
合計：489名／団体

2）後援会費及び寄付収入
後援会費：108万円、寄付：53万円、
合計：161万円

3）経緯
- 法人への寄付
2016年5月に210万円（ぷれいすBeのスヌーズレン購入費用などに充当）
- セキスイハイム住宅紹介制度：2016年度は実績なし
- 定例役員会（定例役員会：2016年5月）に加えて臨時役員会を3回開催し（2016年8月、2016年11月、2017年2月）、資金集めの方法などを話し合った
- 法人各施設、事業所の取引業者様に後援会への入会をお願いした

2. 2016年度の収支と会計監査報告

1）収入
前期繰越金：2,192,498円、寄付金：531,000円、
後援会費：1,084,000円、受取利息：145円、
収入合計：1,615,145円

2）支出
事務費：2,102円、雑費：16,494円、通信費：1,800円、
法人への寄付：2,100,000円、支出合計：2,120,396円

3）次期繰越金
1,687,247円（2017年3月31日現在）
監査役が上記の会計報告について適正に運用されていることを確認した

3. 2017年度の活動計画

1）法人への寄付
165万円を寄付（2017年6月予定）。法人設立20周年及びアクト設立15周年記念事業の費用に充当
使途明細は次回臨時役員会で報告を受ける

2）後援会員の整理と資金計画
- 退会希望者などがあったため、個人及び団体会員の整理を行った
今年度開始時の会員数は、個人会員：391名、団体会員：24、合計：415名／団体
- 資金計画→後援会費、寄付、その他で約155万円の収入を目標にする。各家族会の会員様、法人関連の企業様を中心に協力をお願いする

3）セキスイハイム住宅紹介制度
今年度も継続する（後援会会員が住宅を建てる人をセキスイハイムに紹介すると、成約者は建物本体価格の3%割引、また後援会に50万円、紹介者にも10万円が支払われます：連絡先は法人本部：佐々木寛昭総務部長）

＜その他のご報告＞

2017年度以降の後援会役員は、次のとおりです
会　長：棚山薫晴
幹　事：東　敬司、厚東洋輔、小林夏子、玉木一彦、永井昌明、福田啓子、本田英世、松岡洋市
会　計：和田光子
（以上、役員）
監　査：永田啓子
相談役：今村一二三、植松芳哲、沖本卓郎、中村節史、松上利男
事務局：佐々木寛昭

（棚山　記）

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。
お振込みは右記口座まで。
皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。
既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員　年間一口　2,000円
3. 団体会員　年間一口　10,000円

郵便振込口座　北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀 行 名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店　　口 座 名：社会福祉法人北摂杉の子会
口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

□法人へのご寄附に感謝いたします。（平成29年3月1日~5月31日）
久保いずみ　棚山薫晴　小川敏夫　真野利之　川浪スヱ子　丸山繁一　河端良一　堀江公夫　蛭　豊　植松芳哲
笠原隆之助　スマイル体操研究会　匿名希望2人

□後援会入会と会費納入（平成29年2月15日~5月31日）
新保正秋　田川元康　黒川芳行　桂　吉弥　吉田保子　井田　進　加藤　浩　高原正義　新田利秀　林美千代
森　泰雄　西原清二　東　敬司　平原晟亘　豊澤　進　辰巳浩一郎　辰巳くみ子　北川文治　北川美保子　大門陽子
和田　進　和田光子　澤村淑子　大曽根哲也　太田晶子　田中美枝子　古門貞利　林　智恵　柄須賀早智子
山尾郁保　山尾朝子　山尾　崇　山尾壮志　山尾扶美　平野千鶴子　有川洋太郎　有川由子　有川光洋　有川輝久
有川智美　有川航平　榎本貴夫　永田健二　遠藤仁子　遠藤一太　永田啓子　永田泰士　寺村善則　寺村有理子
本城征治郎　本城三四子　本城　翼　前田浩子　志田智子　西口聖治　尾木　豊　佐藤康子　野田博之　白水光男
田中博子　石田泰二　石前浩之　中西君枝　ひばりクリニック　高橋明彦　竹内知子　具志堅進　野口良三
稲田聖子　具志堅郁子　野口里子　平井雅子　吉川輝夫　吉川弘子　榎本浩之　榎本滋子　志村敦子　川田紀久夫
米田たか　岩井光男　沢田良造　沢田幸子　三宅陽一　高橋八重子　北爪隆子　三宅紀子　出口幸平　黒澤和子
藤田晴美　平林征男　中村忠雄　棚山薫晴　棚山　妙　森谷弘雅　森谷薫美　森谷奈津美　澤田博美　黒澤桂子
梅本順子　棚山勝行　木谷政之　増渕紘子　高島鴻志　高島美津子　南　昌子　南　雄太　南　浩聡　南俊一郎
南　直美　柏原ひさゑ　藤井弘子　平瀬武明　村山宣明　西坂徹雄　増田　博　村山靖子　関　正弘　高原伸兒
関　喜子　高宮郁子　松上文子　鈴木都美　亀田三恵子　佐藤宣三郎　株式会社いずみ商事 代表取締役 久保常和
共和運輸株式会社　匿名希望2人　一般社団法人SOWET　みんなの広場 代表理事 福岡新司
自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会オアシス　自閉症の人のバリアフリーを考える親の会　はぐくみ

□後援会への寄付（平成29年3月1日~5月31日）
伊藤法雄　カトリック高槻教会　北村憲一　太田晶子　近藤順子　新川　淳

□家族会へのご寄附に感謝いたします。（平成29年3月1日~5月31日）
田口容子　匿名希望

□物品のご提供に感謝いたします。（平成29年3月1日~5月31日）
尾澤信子　池上みどり　小塚幸恵　不二園芸　鶴谷久子　赤尾浩子　神田由美子

□ボランティアに感謝いたします。（平成29年3月1日~5月31日）
ほかほか弁当 園田店　佐々木映世　坂井恵美子

（敬称略　順不同）

発行人　社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長　松上 利男
発行所　北摂杉の子会
住　所　大阪府高槻市城北町1丁目6-8
発行日　2017年7月10日
定価100円

施設住所一覧

□ 社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所
人材育成研修室
（法人独自の公益事業〈研修･講師派遣･コンサルテーション〉）
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL（072）662-8133　FAX（072）662-8155
［E-mail］info@suginokokai.com
［URL］http://www.suginokokai.com

□ 知的障害者生活施設 萩の杜（施設入所支援･生活介護）
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL（072）699-0099　FAX（072）699-0130
［E-mail］haginomori@suginokokai.com

□ 萩の杜ショートステイセンター ぷれす
（短期入所･日中一時支援）
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL（072）699-0844　FAX（072）699-0130
［E-mail］breath@suginokokai.com

□ グループホーム とんだ（共同生活援助）
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室

□ グループホーム みやた（共同生活援助）
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室

□ レジデンスなさはら（共同生活援助）
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号

□ ジョブサイトひむろ（生活介護）
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL（072）697-2234　FAX（072）697-2222
［E-mail］himuro@suginokokai.com

□ 高槻地域生活総合支援センター ぷれいすBe
（生活介護･就労継続支援Ｂ型･短期入所･日中一時支援）
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL（072）681-4700　FAX（072）681-4900
［E-mail］placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉TEL（072）681-4720

■ 生活支援センター あんだんて
（指定特定相談支援･指定一般相談支援事業）
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL（072）681-4755　FAX（072）681-4900
［E-mail］andante@suginokokai.com

■ 大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか
（発達障害者支援センター事業）
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL（06）6966-1313　FAX（06）6966-1531
［E-mail］act-osaka@suginokokai.com
［URL］http://homepage3.nifty.com/actosaka/

□ サポートセンターPASSO
（児童発達支援･放課後等デイサービス事業）
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL&FAX（06）4862-5454
［E-mail］passo@suginokokai.com
［URL］http://oasc.jp

□ 児童デイサービスセンター an
（児童発達支援･放課後等デイサービス事業）
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL（06）6838-8990　FAX（06）6838-7015
［E-mail］an@suginokokai.com
［URL］http://oasc.jp

□ こども発達支援センター will
（児童発達支援･放課後等デイサービス事業）
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL（072）662-0100　FAX（072）662-0056
［E-mail］will@suginokokai.com

■ こども相談支援センター wish
（指定特定相談支援･指定障害児相談支援事業）
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL（072）605-1140　FAX（072）662-0056
［E-mail］wish@suginokokai.com

□ 自閉症療育センター Link
（児童発達支援･放課後等デイサービス事業）
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL（072）841-2411　FAX（072）841-2412
［E-mail］link@suginokokai.com

□ こども発達支援センター az
（児童発達支援･放課後等デイサービス事業）
〒558-0003 大阪市住吉区長居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL（06）6654-8777　FAX（06）6654-8780

□ ジョブサイトよど（生活介護）
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL（06）6838-7007　FAX（06）6838-7015
［E-mail］yodo@suginokokai.com

□ ジェイ･ブランチよど（就労継続支援Ｂ型）
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL（06）6303-9430　FAX（06）6195-3710
［E-mail］yodo_branch@suginokokai.com

□ ジョブジョイントおおさか
（自立訓練〈生活訓練〉･就労移行支援）
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL（06）6100-0150　FAX（06）6309-3007
［E-mail］jj@suginokokai.com

□ ジョブジョイントおおさか たかつきブランチ
（自立訓練〈生活訓練〉･就労移行支援）
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F･4F
TEL（072）668-1123　FAX（072）668-1165
［E-mail］jj@suginokokai.com

□ 法人自主製品店舗
よどのコロッケ
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目10番10号
TEL（06）6306-4096
営業時間：10：30～17：00（土・日・祝定休）

□ 「LaLa-chocolat（ララ ショコラ）/TAKATSUKI」
就労継続支援Ｂ型
〒569-0091 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL（072）668-5055　FAX（072）668-5081
営業時間：10：00～19：00（日・祝休み）

※■は行政よりの委託事業